

# 南アフリカの株式市場

～ 金鉱関連を中心に上昇する南アフリカ全株指数～

2006年 9 月 3 日 (日)

B R I C s 経済研究所 代表 門倉 貴史

E-mail: postbrics@yahoo.co.jp

## ～ 要 旨～

南アフリカ共和国のヨハネスブルク証券取引所は、英国の植民地下にあった1887年に設立された。

アパルトヘイトが採用されていた1980年代には、米国が南アに経済制裁措置をとったため、メルリンチなど米国の大手証券会社は南アから撤退し、米国からの投資資金の流入はとだえていた。しかし、アパルトヘイトが完全に廃止されてからは、再び米国証券会社が南アに進出、90年代後半以降、米国の投資信託資金や年金基金がヨハネスブルク証券取引所に流入するようになった。

ヨハネスブルク証券取引所には2006年 6 月末現在で374の企業が上場している。時価総額は5997.48億ドルに達し、南米最大となっているブラジルのサンパウロ証券取引所(06年 6 月末で5835.4億ドル)とほぼ同じ規模だ。

ヨハネスブルク証券取引所を運営するJ S E は、取引所の透明性や規律を高めることを目的として、2005年 7 月に株式会社化し、2006年 6 月には株式をヨハネスブルク証券取引所に上場・公開した。株式公開前の2004年末には、企業会計を国際標準に近づけるため、米欧が普及を進めている「X B R L」を使って2002年度、2003年度決算情報を開示した。「X B R L」とは、財務報告用の情報を作成・利用できるよう標準化されたXML形式のコンピューター言語のこと。

ヨハネスブルク証券取引所の問題点としては、少数の白人系巨大財閥が発行済み株式のかなりの部分を保有しているため、株式の流動性が低いということだ。

ヨハネスブルク証券取引所の代表的な株価指数は、南アフリカ全株指数。同指数の推移をみると、2003年から上昇傾向が鮮明となっており、2006年 8 月には過去最高値を更新した。資源の国際価格高騰を背景に、金鉱など資源関係企業の業績が好調に推移していることが株価の押し上げ要因となっている。

なお、日本から南アフリカの株に投資をする場合には、ファンドの購入が中心となる。J . P . モルガンがB R I C s に南アフリカを加えたファンド(B R I C S 5 ファンド)を設定している。また、世界の金鉱関連企業の株式を集めたファンドなどにも、南アフリカ企業の銘柄が組み入れられている。個別銘柄については、個人投資家が日本から直接投資をすることはできないが、A D R (米国預託証券)を使って間接的に投資をすることは可能だ。楽天証券を通じて、アングロ・ゴールド、D R D ゴールド、ゴールド・フィールズ(G F I)、ハーモニーといった金鉱関連企業の株式が売買できる。これらの企業の株価は、金の国際価格の動きと連動することが多い。

### (1887年に設立されたヨハネスブルク証券取引所)

南アフリカ共和国のヨハネスブルク証券取引所は、アフリカ大陸で最大の証券取引所となっている。その歴史は古く、英国の植民地下にあった1887年に設立された。同証券取引所は、1980年代に、英国のロンドン証券取引所のシステムを参考にしながら、株式市場の近代化を進めていった。

アパルトヘイト(人種隔離政策)が採用されていた1980年代には、米国が南アに経済制裁措置をとったため、メリルリンチなど米国の大手証券会社は南アから撤退し、米国からの投資資金の流入はとだえていた。しかし、アパルトヘイトが完全に廃止されてからは、再び米国証券会社が南アに進出、90年代後半以降、米国の投資信託資金や年金基金がヨハネスブルク証券取引所に流入するようになった。

ヨハネスブルク証券取引所には2006年6月末現在で374の企業が上場している。時価総額は5997.48億ドルに達し、南米最大となっているブラジルのサンパウロ証券取引所(06年6月末で5835.4億ドル)とほぼ同じ規模だ。

ヨハネスブルク証券取引所を運営するJSEは、取引所の透明性や規律を高めることを目的として、2005年7月に株式会社化し、2006年6月には株式をヨハネスブルク証券取引所に上場・公開した。株式公開前の2004年末には、企業会計を国際標準に近づけるため、米欧が普及を進めている「XBRL(eXtensible Business Reporting Language)」を使って2002年度、2003年度決算情報を開示した。「XBRL」とは、財務報告用の情報を作成・利用できるよう標準化されたXML形式のコンピューター言語のこと。

アフリカ大陸各国の各証券取引所は、将来的に、南アのヨハネスブルク証券取引所を中心に、システムの共用化など、アフリカ共通の株式市場を創設することを目標としている。

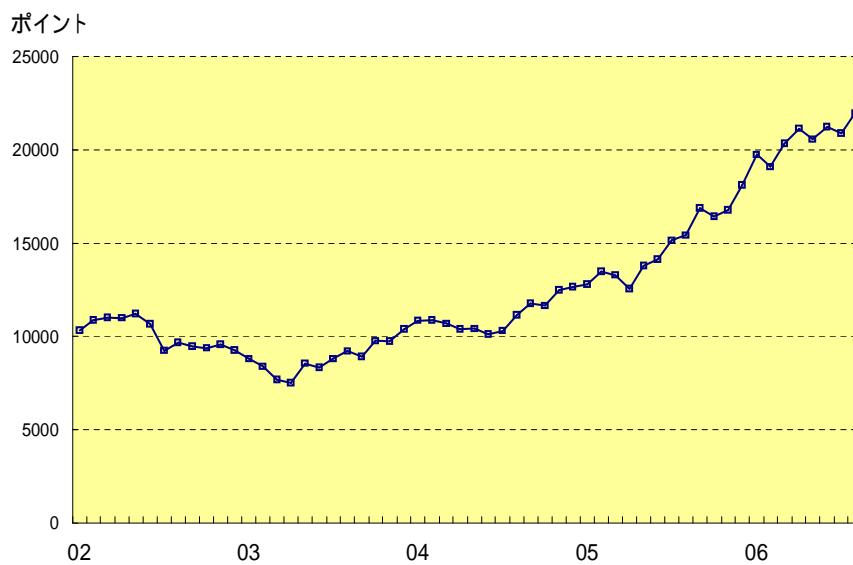
ヨハネスブルク証券取引所の問題点としては、アングロ・アメリカンなど少数の白人系巨大財閥が発行済み株式のかなりの部分を保有しているため、株式の流動性が低いということだ。株式持ち合い解消の動きは徐々に進んでいるが、国際的な標準と照らしてみれば、流動性は依然低い水準にとどまる。

### (上昇傾向で推移する南アフリカ全株指数)

ヨハネスブルク証券取引所の代表的な株価指数は、南アフリカ全株指数である。同指数の推移をみると、2003年から上昇傾向が鮮明となっており、2006年8月には過去最高値を更新した(図表1)。資源の国際価格高騰を背景に、金鉱など資源関係企業の業績が好調に推移していることが株価の押し上げ要因となっている。

なお、日本から南アフリカの株に投資をする場合には、ファンドの購入が中心となる。J.P.モルガンがBRICSに南アフリカを加えたファンド(BRIC5ファンド)を設定しているほか、世界の金鉱関連企業の株式を集めたファンドなどにも、南アフリカ企業の銘柄が組み入れられている。個別銘柄については、個人投資家が日本から直接投資をすることはできないが、ADR(米国預託証券)を使って間接的に投資をすることは可能だ。楽天証券を通じて、アングロ・ゴールド、DRDゴールド、ゴールド・フィールズ(GFI)、ハーモニーといった金鉱関連企業の株式が売買できる(図表2)。これらの企業の株価は、金の国際価格の動きと連動することが多い。

図表１ 南アフリカ全株指数の推移（月末値）



(出所) ヨハネスブルグ証券取引所

図表２ 日本からＡＤＲを使って投資できる南ア企業の銘柄

企業名	業種	上場
アングロ・ゴールド	金鉱	ニューヨーク
DRDゴールド	金鉱	ナスダック
ゴールド・フィールズ(GFI)	金鉱	ニューヨーク
ハーモニー	金鉱	ニューヨーク

(出所) 筆者作成